

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、朝来市	地域再生計画名	兵庫県、朝来市「あなたが好きなまち・朝来市計画」
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	兵庫県農林水産部 林務課 河田 尚顯		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	世帯数の増加	12,374世帯	H26	12,387世帯	H30	12,353世帯	12,400世帯	R4	12,292世帯	×	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> 指標総数 4 達成数 2 </div> 転入世帯は増加傾向にあるものの、世帯数の自然減を上回ることができず、現状では目標を下回った。	
	指標 2	企業の本地区への進出	1企業	H26	3企業	H30	8企業	5企業	R4	16企業	○		市道整備と企業誘致促進事業等の独自の取り組みを合わせて実施することにより、目標を達成できた。
	指標 3	林業振興と森林整備の促進(素材生産量の増加)	16,762m3	H26	29,362m3	H30	29,396m3	29,362m3	R4	29,431m3	○		林道整備と森林環境保全整備事業等との連携を高めることによって、目標を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	観光客入込客数	2,618千人	H26	2,667千人	H30	2,278千人	2,700千人	R4	1,881千人	×	R2～R3において新型コロナウイルス感染拡大防止の為、臨時休業やイベント中止等が相次ぎ、観光客数も大幅減となった。 R4は増加傾向にあるものの、現状では目標を下回った。	
	指標 2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(H30)	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		782m	444m	782m	計画に則した整備が実施できたことにより、企業の進出などにつながったと考えている。一方、世帯数や観光客入込客数の増加を図るためには、拠点へのアクセス改善を図る必要があるため、市道の幅幅などさらに事業を行う必要がある。 災害により一部工区での工事休止や、森林施業者との調整もあったが、林道整備により今まで森林施業者が困難であった地域について、森林へのアクセス改善が図られた結果、素材生産量が増加となった。引き続き事業を行い、林業振興と森林整備の促進を図りたい。							
	林道整備事業（整備延長）		5,490m	1,035m	3,736m								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	朝来市未来カフェ事業		朝来市による支援事業			朝来市での起業やものづくりの検証や相談を行いながら、暮らし方の提案を行う未来カフェ等を実施した。							
	移住推進支援事業					地域ぐるみで移住者の受け入れる活動を推進するため、地域の活動経費を助成した。							
	あさごらボ事業					市民活動からコミュニティビジネスにつなげるための学びの場づくりを行った。							
	企業誘致促進事業					雇用の創出と経済の活性化を目的として、市内への企業誘致活動や市内既存企業の設備拡大などを進めた。							
	観光交流キャンペーン事業					観光等による交流人口の増加や観光産業の振興、地域の活性化などに向けて、様々な観光PR活動を展開した。							
	観光創生事業					日本遺産認定後の活用に向けた新たな集客戦略を図るための調査などを行うとともに、インバウンド観光への取組を進めた。							
	特産物振興事業					岩津ねぎや黒大豆、コウノトリ米など特産物のブランド化を進め、生産拡大とPRを実施することで販路の開拓・拡大を図り、地域農業の振興と都市住民との交流による地域の活性化を推進した。							
	夜久野高原活用事業					夜久野高原において、民間事業者と連携して岩津ねぎや黒大豆など農業生産や6次産業化を進めた。また、安定した野菜等の生産に向けてハウス栽培を推進し、設置費の一部を支援した。							
	担い手総合支援事業					後継者不足等で農地や水路等の農業資源の保全が難しくなりつつある現状を踏まえ、地域が一体となり営農活動を行う集落営農組織、大規模に営農を行う認定農業者の育成・支援を推進するとともに、定年退職後の帰農者など意欲ある担い手としての育成を支援し、農業の多様な担い手の確保を推進した。							
	木質バイオマス発電活用事業					林業従事者の高齢化が進む中で、若者技術者を確保し、安定的な林業経営を維持した。県・市・関西電力などで進めている木質バイオマス発電事業において、森林保全や雇用促進など多方面に活用した。							
森林環境保全整備事業		農林水産省による支援事業			森林整備及び作業道等の林内路網整備を実施した。								
機能回復整備事業					花粉症対策苗木を用いた皆伐・再造林を推進し、森林の生産力の回復、増進した。								
針広混交林整備事業					兵庫県による支援事業			増加しつつある施業放置森林を部分伐採し、その跡地に広葉樹を植栽し、風害に強く、水土保全機能の高い森林へ誘導した。					
④評価方法	地域再生計画評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	兵庫県のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地域間の交通ネットワークを整備し、交流拠点を結ぶ新たなネットワークを構築し、新しい人の流れをつくる移住の促進、産業振興と雇用促進を図ることを目的として、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行った。その結果、企業の進出や素材生産量の増加目標を達成することができた。一方、指標1の世帯数の増加については、現時点で減少傾向であるが、少しでも世帯数の減少に歯止めがかかるよう、移住推進支援事業等の独自の取り組みとさらなる連携を図っていく。												
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、概ね円滑に整備が進み、企業の進出や素材生産量の増加目標が達成された。一方、世帯数や観光客数の増加を図るため、移住推進支援事業・観光交流キャンペーン事業・観光創生事業・特産物振興事業等のソフト対策も一層強化していきたいと考えている。												